

岡山 EAP カウンセリングルーム メンタルヘルス ニュース



〒703-8520
岡山市中区浜 472
岡山 EAP カウンセリングルーム
発行責任者; 荒木潤子

Tel (086) 272-8116
Fax (086) 272-0883
<http://okayamaeap.jp>
e-mail ; info@okayamaeap.jp

右脳左脳チェックで自分のクセを知ろう！

なんだかうまく話が伝わらない・・・。それはもしかしたら自分と相手のコミュニケーションのパターンがずれているのかも。次の2つ（指の組み方、腕の組み方）でお互いの利き脳が簡単にわかります。自分と相手のコミュニケーションのクセを知って、より伝わりやすい話し方を工夫してみましょう。

左親指が上 → 情報のインプットは「右脳」



診断① 情報のインプット(理解)

指を自然に組んだ時に、上に来る指はどっち？
左親指⇒インプットは「右脳」タイプ
右親指⇒インプットは「左脳」タイプ



右腕が上 → 情報のアウトプットは「左脳」

診断② 情報のアウトプット(表現)

腕を自然に組んだ時に、上に来る腕はどっち？
左腕⇒アウトプットは「右脳」タイプ
右腕⇒アウトプットは「左脳」タイプ

【診断結果】

	右脳（直感/感覚/イメージ）	左脳（論理/分析/計算）
診断その①	左指上＝右脳で理解	右指上＝左脳で理解
情報のインプット (理解)	感覚的にとらえるので、図やイメージなどで説明されると理解しやすい。	論理的にとらえるので、言葉や数字などで説明されると理解しやすい。
診断その②	左腕上＝右脳で表現	右腕上＝左脳で表現
情報のアウトプット (表現)	直感的に説明するので、「すごくすごかった」、のような表現になりやすい。長嶋茂雄さんタイプ！	論理的に説明するので、「何がどのようにどうだった」、のような客観的的確な表現が多い。

いかがでしたか？自分のクセを知り、より伝わりやすいコミュニケーションを工夫してみましょう☆（参考：luckybrains.zero-yen.com/kekka.htm#右脳右脳）